



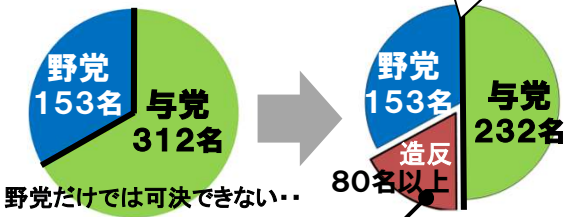
KOKUMIN
MINSHU
PRESS
号外

令和元年 夏号
愛知11区(豊田市・みよし市)版
国民民主プレス編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
press@minshin.or.jp http://www.dppf.or.jp

●お問合せ・購読申込みなどは国民民主プレス編集部または
国民民主党 愛知県第11区総支部
住所:〒471-0029 豊田市桜町2-15-1
電話:0565-31-2480
衆議院議員
総支部長 **ふるもと伸一郎**

Q「老後の2000万円」が社会問題に！野党は内閣不信任を出すも迫力なしは何故か？
A 与党から造反議員が出る見込みもなく、可決の可能性が低いため。

衆院定数(計465名)



「人生100年時代の年金を考えるチャンスだ！」

自民党厚労部会長
小泉進次郎氏



- ・与党から80名以上の造反があってはじめて現実的になる
- ・野党も与党の非主流派と連携するくらいの覚悟が足りない！

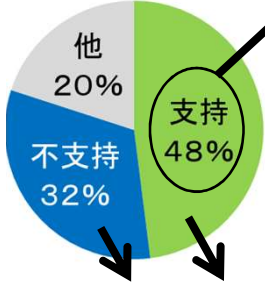
「内閣は、衆議院で不信任の決議案を可決し、又は信任の決議案を否決したときは、十日以内に衆議院が解散されない限り、総辞職しなければならない」と規定(憲法69条)

- 中選挙区の時代(~1994年)は、野党が提出する内閣不信任案にしばしば与党の非主流派が造反カードを切ってちらつかせ権力闘争に。野党もそれを利用し迫力を出した。
- 与党内で政権に異を唱えたくても小選挙区制では公認権と人事権を官邸と幹事長が握り派閥も動けず。
- 小選挙区制は派閥の金権政治を改めるために導入したが、逆に与党の中からの自浄作用を欠く原因に。

- 提案**
- 野党は、小選挙区制の下で戦い方を変え、提案型で結果を出し信頼を得る。
 - 与党は、官邸の顔色を見ず、政治闘争した方が国民にとり選択肢が増える。

Q 憲法9条、老後の資金2000万円等、違和感があっても野党よりマシで自民党を支持する。個々には言いたいことがある人は、どうすれば政策実現できるのか？

内閣支持率
(6月NHK世論調査)

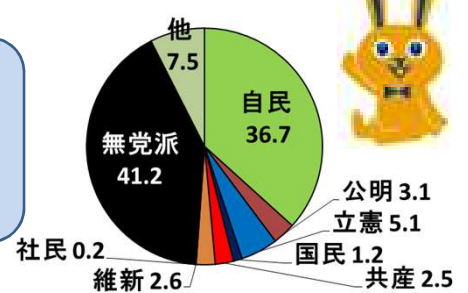


他よりマシ(49%)、実行力がある(16%)

Q: 支持はどこから生まれるのか？

- ・個々の政治家のファン(○)
 - ・特定の団体に所属し、仲間の候補がいる(○)
 - ・支持政党の公認候補者を自動的に応援(△)
- ⇒政治家も国会で個の力がなければ、政策実現できない

政党支持率
(6月NHK世論調査)



“政策”よりも「政党や党首の印象」が判断材料となっている

与党39.8%、野党11.6%、無党派 41.2%

○世の中は「何党」が好きというより、暮らしが良くなるなら何党でもいい。

実現性

- 提案**
- 一案: 政権交代を目指す.....【低】
(野党への期待感と信頼が芽生えたときに、一気に政権交代を目指すことができる)
 - 二案: 与党と野党が協議し、修正する.....【中】
(与野党の力が拮抗したときに、与野党協議が機能しやすくなる)
 - 三案: 政策ごとに是々非々で与党と連携.....【高】
(例えば、憲法改正は与野党の連携なしには難しく、政策本位の試金石となる)

Q 2009年の政権交代があたかも“負の遺産”となり、野党も苦しいのでは？

A 党運営は論外だったが、政権交代による政策転換が将来につながった！



- 子ども手当 → 財源不足に苦しむが人への投資となった
- 消費税 → 党内の混乱を招くも社会保障財源の必要性を認識
- 高速道路無料化 → 全国37ヶ所の社会実験で経済効果を確認

現在につながる
“変化の芽”となった

2009年(旧民主党)

「コンクリートから人への投資」
「国民の生活が第一」

お金の使い方を大きく変えた！



2019年(自公)

〔継続中〕

- 子ども手当
- 高校授業料の無償化
- 自民党若手が高速無料化を検討

〔新規追加〕

- 幼稚園・保育園の無償化
- 大学無償化

安倍総理は「民主党の悪夢の3年間」と繰り返すが、旧民主党の政策を継続しているのも事実。

Q 老後資金2000万円が必要と言われても困る。

A 寿命が100歳まで想定した年金ではない。
超ご長寿社会に見合った新しい社会の姿を示さなければなりません！

年金は何歳からもらえるの？

やがて受給開始年齢が伸びて70歳になるの？

年金の不足分を補えるの？
(年金だけでは暮らせない〔84%〕
出典:産経・FNN合同世論調査



科学技術・イノベーション推進特別委員会にて

提案

生涯現役を続けられる人は、“受け手”から“担い手”になる社会

(60歳の定年後も働きたい人は約9割。働けるうちはいつまでも約3割)

出典:内閣府H25高齢者の地域社会への参加に関する意識調査

生涯現役のためには移動が大切。シニアの移動の自由を守る！

へ
例えは

- サポートカー*限定免許の創設(親世代はもちろん子世代も安心)
*被害軽減(自動)ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置等を搭載した車
- サポートカーへの買替補助金や自動車税の減免税を導入
- 車の維持費を削減し、生活を守る！
特に高齢者・若者層は任意保険が高く、新たに所得税の控除対象にする



本庶佑博士 古本伸一郎
(京都大学にて)

科学技術・イノベーション推進特別委員会として、ノーベル賞を受賞された本庶先生と懇談。博士曰く「巨木はいつか倒れてその下から新たな芽が生まれる。ベンチャー精神を持って。」との言葉をいただきました。政治のベンチャーに挑戦して参ります。



(第1潜水隊群呉横橋にて)

広島県呉市の海上自衛隊を訪問。昨年7月の西日本豪雨では、護衛艦・補給艦等も出動し、被災地を支援されました。彼らの日頃からの活動に感謝します。

ご意見・ご要望はこちらへ！

豊田事務所 〒471-0029 愛知県豊田市桜町2-15-1(右図参照)

TEL:0565-31-2480 FAX:0565-31-1615

東京事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館419号室

TEL:03-3508-7262 FAX:03-3502-5075

Facebook

